

一ノ宮地域計画

2024 年度～2027 年度

保存版



ありがとう あいさつ一声一ノ宮
強い絆の一ノ宮
安心・安全は平素のふれあい
住んでよかった一ノ宮



【地域旗】意味

意匠[米の文字]

穀倉地帯である一ノ宮は、農耕地の刃物をおもわせる曲線形の中に、図案化した「米」の文字五つを配して、一ノ宮の一線（赤色）を加えた。地色は「しろ」。白米のしろさと、けがれなき人の心を願って。

2024 年4月

一ノ宮地域づくり協議会

地域づくりについての想い

近年、少子高齢化や人口減少、核家族化、技術の高度化が進み、またコロナ禍の影響でコミュニケーションの希薄化や地域活動の担い手不足など、地域の課題も多様化・複雑化しています。これからも自分たちの地域が活力に満ちた住みよい地域であるためには、住民自らが課題の解決や活性化に取り組んでいくことが大切です。このため、一ノ宮小学校区に住む住民や地域で活動している各種団体のネットワーク組織として、地域の自治会が中心となり 2019 年 2 月 18 日、鈴鹿市地域づくり協議会条例に基づく一ノ宮地域づくり協議会が発足しました。

一ノ宮地域づくり協議会は、「住んでよかった一ノ宮」をスローガンにまちづくりに取り組んでまいります。

地域計画とは

「地域計画」とは、住みよい地域をつくっていくために、私たち住民が自ら立てる計画です。住んでいる地域の状況（地域の資源や課題など）を把握し、整理しながら「住みよい地域」とは何かを考え、アイデアを出し合って意見交換を行い、課題の解決方法や地域を元気にする方法などまとめた、地域づくりの指針となるものです。前回（2020年度～2023年度）計画策定時に全世帯アンケートを実施し各自治会の方々と協議して地域計画を策定しており、今回一部修正して策定しました。

■計画の期間

2024 年度から 2027 年度の 4 年間とします。

地域づくりの基本目標と各部会の目標

■基本目標

できることから始めましょう 自分たちの地域づくり
支え合い・助け合い 強い絆で繋がって住んでよかったと思えるまち 一ノ宮

■各部会の目標

◇青少年育成部会の目標◇

子どもとともに笑顔あふれる「一ノ宮大好き」を目指します。

◇文化体育振興部会の目標◇

地域の特性・歴史を守り、文化活動や体育行事を通じて、世代を超えたまちづくりを目指します。

◇福祉部会の目標◇

生涯にわたって笑顔で元気に暮らすことができるまちづくりを目指します。

◇防災安全部会の目標◇

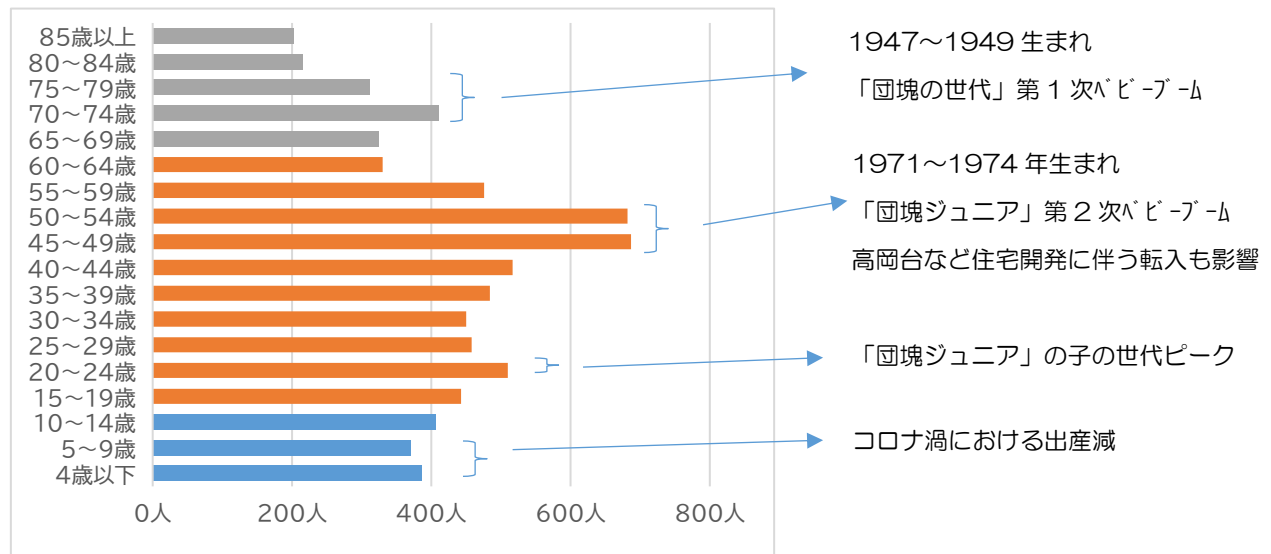
安全で住みよいまちづくりを目指します。

一ノ宮地域の現状

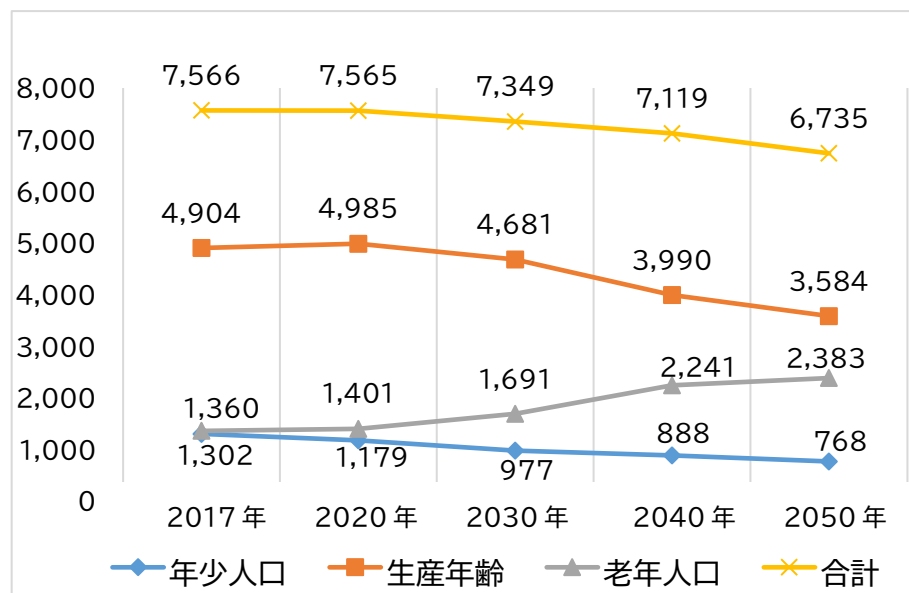
■鈴鹿市及び一ノ宮地域の人口・世帯数【2022 年9月末現在】

	鈴鹿市全体	一ノ宮地域	市全体に占める割合
総人口	196,693 人	7,665 人	3.90%
世帯数	88,262 世帯	3,255 世帯	3.69%

■年齢別人口分布【2022 年9月末現在】



■将来推計人口



この先、高齢者がすごく増えて、働く世代や子供たちが少なくなっていくね。



日本の人口は、全国的に減少していくことが見込まれ、危機感が高まっています。鈴鹿市においても同様ですが、一ノ宮地域においては高岡台など住宅開発により、他の地域に比べて人口減少は比較的ゆるやかに減少しています。しかし15年後には、「団塊ジュニア」以上の世代の方も高齢者（65歳以上）となり、超高齢社会が予測されます。

よいところ

- あいさつでき活気がある。
 - ・子どもたちがきちんと挨拶できる。子どもたちが明るく元気がある。など
- 人とひとのつながりがある。
 - ・隣近所で助け合っている。世代を超えたつながりがある。など
- 多様な人材がいる。
 - ・新しいまちができて多様な人材がいる。若い人たちが多く活気がある。など
- 安心・安全に住むことができる。
 - ・消防団活動や小学生の通学時の見守りがある。安心して遊べる公園がある。など
- 子どもを大切にしている。
 - ・地域で子どもを育てていると感じる。子どもたちの見守り活動がある。など
- いきいきとした高齢者が多い。
 - ・元気によく働く高齢者の方が多い。笑顔で元気、親切。地域活動が盛ん。など
- ボランティア活動が充実している。
 - ・あいさつ運動、環境美化、安全パトロールなどの活動に積極的に参加している。など
- イベントが充実している。
 - ・自治会や公民館などでイベントがたくさんある。子ども向けイベントも多い。など
- 文化的伝統的な行事や祭りがある。
- 自然が豊か、静かで過ごしやすい。



地域・安全パトロール（一斉下校）

課題

- ◆安心・安全の確保
 - ・通学路の安全確保。防犯カメラの設置。など
- ◆防災意識の啓発や対策の向上
 - ・防災意識、情報の共有化が足りない。安否確認など連絡方法の確立が必要。など
- ◆移動手段の確保
 - ・公共の移動手段がないので不便。（特に高齢者）車に頼らざるを得ない。など
- ◆コミュニケーションの向上
 - ・地域間、世代間コミュニケーションが不足している。向こう三軒両隣意識。など
- ◆地域行事の見直しや情報発信の充実
 - ・昔のように交流の場や外で遊ぶ機会を増やして欲しい。情報発信不足。など
- ◆ボランティアや担い手など人材の確保育成
 - ・ボランティア意識。助け合い、支え合いの意識向上。など
- ◆高齢化が進行している
 - ・高齢者の一人暮らしや高齢者同士の世帯が増えている。など
 - ・地域での空き家問題について対策が必要。
- ◆伝統行事や文化の継承
 - ・担い手や後継者不足。大切にしようとする気持ちがもっと欲しい。など

分野別の主な取り組み方針

【地域づくり協議会 全体の取り組み】

- 次世代を担う人材を確保、育成に取り組みます。
- 地域の情報発信に努め、協議会活動の定着に取り組みます。
- 地域で活躍する団体等の連携を図ります。
- 住民参加の協議会づくりを目指します。

【専門部会の取り組み】

青少年育成部会

- あいさつ運動、文化的・伝統的なイベント、環境美化運動、ボランティアなど、子どもとともに参加できるイベントを開催し、世代間の交流を図ります。
- コミュニケーション能力の向上、道徳心・お互い様の心を育むため、イベントなどを通じて、子どもとともに学べる環境づくりを図ります。
- 災害対応、交通ルール、通学時の安全確保など、危機意識の向上を図り、子どもたちが安全に過ごせる環境づくりを進めます。



芋掘り大会



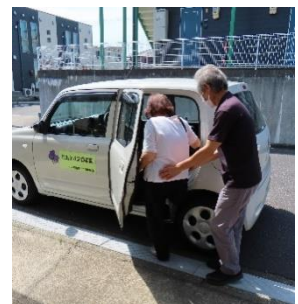
わくわく体験
ニュースポーツ

文化体育振興部会

- 地域の伝統行事に対する愛着と誇りを深め、その素晴らしい文化を伝承していくため、披露する機会の拡大や後継者の育成に協力します。
- 身体を動かす機会の創出と世代を超えた地域コミュニティの活性化に繋げるため、身近な場所で気軽にスポーツができる環境づくりを目指します。

福祉部会

- 人と人とのつながりを深めて支え合うまちづくりを目指して、気軽に集まることのできるサロンの開催に向けて取り組みます。
- 公共交通手段が整っていない一ノ宮地域において、行政と協働し、住民が移動しやすい交通システムの構築を進めます。
- 高齢者が住み慣れたまちで、いつまでも幸せに暮らせるよう「支え合い、ふれあい活動」等について、取り組みを検討します。



お出かけ支援



防災訓練
(炊き出し)

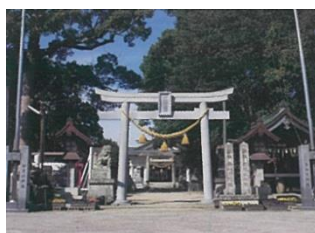
防災安全部会

- 災害に備え、自らの命を守る取り組みや、地域全体の取り組みを定める「一ノ宮地域防災計画」の策定を目指します。
- 防災意識を高め、災害時に適切に行動できるよう、地域全体の防災訓練の実施に向けて取り組みます。
- 世代を超えて助け合い、支え合う意識を育てるため、住民が交流する機会づくりに努めます。
- 子どもたちを地域で守り、育てるため、交通安全・防犯活動の現状を検証し、より効果の大きい取り組みを検討していきます。

地域の主な資源



高岡山中央公園
大きな滑り台が人気



都波岐奈加等神社
伊勢国一宮とされる
猿田彦大神を祀る



中戸流獅子舞
6つの舞を有する
鈴鹿市指定無形民族文化財



高岡城跡
地域や伊勢湾を一望
織田信長軍の攻撃に
も落城せず



高岡公園
桜が咲き誇る公園



一ノ宮運動場
サッカーや野球など
元気な子どもたちがいっぱい



養元寺
川端龍子画伯が描
いた天井画「飛天
散華の図」



一ノ宮公民館・一ノ宮小学校からの概ねの距離と徒歩移動時間

高岡城跡まで	約 2.0 km	約 20 分
高岡山中央公園まで	約 2.5 km	約 35 分
高岡公園まで	約 1.2 km	約 16 分
一ノ宮地区市民センターまで	約 1.2 km	約 16 分

※GoogleMapsにて測定。ルートや歩く速さによって時間は異なることもあります。

発行：一ノ宮地域づくり協議会(事務局：一ノ宮公民館内) 2024 年4月作成